

各位

上場会社名 ウチダエスコ株式会社
 代表者 代表取締役社長 武井 均
 (コード番号 4699)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員管理本部長 齊藤 一洋
 (TEL 047-382-4141)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年11月25日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年7月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年7月21日～平成21年1月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,350	253	255	145	40.31
今回発表予想(B)	6,299	382	383	225	62.79
増減額(B-A)	△51	129	128	80	――
増減率(%)	△0.8	51.0	50.2	55.2	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年7月期第2四半期)	6,088	289	290	165	46.02

平成21年7月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年7月21日～平成21年7月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,800	515	520	300	83.39
今回発表予想(B)	12,500	595	600	350	97.28
増減額(B-A)	△300	80	80	50	――
増減率(%)	△2.3	15.5	15.4	16.7	――
(ご参考)前期実績 (平成20年7月期)	12,262	583	588	342	95.02

平成21年7月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年7月21日～平成21年1月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,150	215	235	135	37.51
今回発表予想(B)	6,126	335	358	208	57.91
増減額(B-A)	△24	120	123	73	――
増減率(%)	△0.4	55.8	52.3	54.1	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年7月期第2四半期)	5,901	239	262	151	42.03

平成21年7月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年7月21日～平成21年7月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,400	440	480	275	76.41
今回発表予想(B)	12,100	515	560	325	90.33
増減額(B-A)	△300	75	80	50	――
増減率(%)	△2.4	17.0	16.7	18.2	――
(ご参考)前期実績 (平成20年7月期)	11,895	492	534	309	85.87

修正の理由

【平成21年7月期第2四半期連結累計期間 連結業績】

連結の売上高につきましては、保守部門で、スポットの大型アウトソーシング業務案件の受託に加えオンサイト修理件数が増加したこと、また、ソフトウェア開発部門の受注が増加したことにより、役務サービス両部門の売上が当初計画を上回る見込みとなりました。(計画比6.0%増、前年同期比10.4%増)しかし、商品販売部門で顧客の経費削減の影響を受けたことによる需要減により、売上の減少(計画比11.4%減、前年同期比7.3%減)があり、売上高は、前回予想比51百万円減となる6,299百万円(計画比0.8%減、前年同期比3.5%増)となる見込みであります。

連結の利益面につきましては、役務サービス部門の売上増等の要因により売上総利益率が計画比2.7ポイント向上、また、管理費用の統制に努めた結果、営業利益は前回予想比129百万円増の382百万円(計画比51.0%増、前年同期比32.3%増)、経常利益は同じく128百万円増の383百万円(計画比50.2%増、前年同期比32.1%増)、四半期純利益は同じく80百万円増の225百万円(計画比55.2%増、前年同期比36.4%増)の見込みであります。

【平成21年7月期通期 連結業績】

平成21年7月期の下半期の業績見通しとしては、商品販売部門を中心に景気の急減速に伴うIT投資需要の後退、競争激化による単価の引き下げ等による利益率の低下、並びにコスト面におきましても新入社員の採用増による人件費の増加等を見込んでおり、収益環境は厳しさを増すものと想定しています。

しかしながら、景況悪化の中で、コスト削減に伴う企業情報システムの維持業務を中心としたプロセス業務のアウトソーシング需要は増加すると予測しており、保守部門の営業力を強化し、受注獲得に努める所存であります。

上記を踏まえ、通期の連結業績につきましては、売上高は、前回予想比300百万円減の12,500百万円、営業利益は同じく80百万円増の595百万円、経常利益は同じく80百万円増の600百万円、当期純利益は同じく50百万円増の350百万円を見込んでおります。

【平成21年7月期第2四半期累計期間 個別業績】

個別業績予想につきましても、連結業績予想と同じ要因により、売上高は前回予想比24百万円減の6,126百万円、営業利益は120百万円増の335百万円、経常利益は同じく123百万円増の358百万円、四半期純利益は同じく73百万円増の208百万円の見込みであります。

【平成21年7月期通期 個別業績】

個別業績予想につきましても、連結業績予想と同じ要因により、前回予想比300百万円減の12,100百万円、営業利益は同じく75百万円増の515百万円、経常利益は同じく80百万円増の560百万円、当期純利益は同じく50百万円増の325百万円を見込んでおります。

※上記の業績予想等は、現時点で得られた情報に基づき作成したものでありますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は記載の業績予想等と異なる場合がありますことをあらかじめご承知ください。

以 上